

シンポジウム：大地震・大津波に備えて ～海からの視点で考える～

平成23年 **10月31日** **月** 10:00～17:35
(開場 9:30)

会場：神戸国際会議場 メインホール

(神戸ポートアイランド) (裏面地図を参照ください)

参加費 無料
事前申し込み必要

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、大変多くの方がお亡くなりになるなど、甚大な被害が発生しました。心よりお見舞い申し上げます。

16年前の阪神・淡路大震災の教訓、今年3月の東日本大震災の現状、今後の大地震・大津波災害に備えての対策などを各専門の先生方にお話しいただくシンポジウムです。

皆様、是非ご参加ください。



【主催】公益社団法人日本船舶海洋工学会 (JASNAOE)
テクノオーシャン・ネットワーク (TON)
独立行政法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
独立行政法人 港湾空港技術研究所 (PARI)
関西海事教育アライアンス
(大阪大学、神戸大学、大阪府立大学)

お申し込み

参加ご希望の方は氏名、住所、電話番号を明記の上、下記までお申し込みください。

(財)神戸国際観光コンベンション協会

FAX/078-302-1870 E-mail: techno-ocean@kcva.or.jp

お問い合わせ先

TEL/078-303-0029 (月～金 9:00～17:30)

～プログラム～

- 10:00～10:10 開会の挨拶 (谷口友一 実行委員長)
- 10:10～11:20 第1部 阪神・淡路大震災の教訓
 - ・阪神・淡路大震災からの提言はどう活かされたか
 - 講演者：中村容透 (川崎重工業株式会社)、井上欣三 (神戸大学名誉教授)
- 11:20～12:00 第2部 東日本大震災の現状 Part 1
 - ・海底調査から見えてきた東北地方太平洋沖地震の実態
 - 講演者：小平秀一 (独立行政法人 海洋研究開発機構)
- 12:00～13:20 昼休み
- 13:20～14:40 第2部 東日本大震災の現状 Part 2
 - ・2011年東北地方太平洋沖地震津波による港湾施設の被災状況
 - 講演者：栗山善昭 (独立行政法人 港湾空港技術研究所)
 - ・船舶による救援・復興支援と浮体式防災基地
 - 講演者：加戸正治 (財団法人 日本船舶技術研究協会)
- 14:40～15:00 休憩
- 15:00～17:30 第3部 今後の大地震・大津波災害に備えて
 - ・南海トラフ巨大地震研究の最前線
 - 講演者：金田義行 (独立行政法人 海洋研究開発機構)
 - ・東北地方太平洋沖地震津波による被害とその教訓 / 講演者：越村俊一 (東北大学)
 - ・国際健康医療貢献艦船団 / 講演者：浅野茂隆 (早稲田大学)
 - ・津波対策におけるマリンプロートの活用について
 - 講演者：中原裕幸 (神戸大学 / 横浜国立大学 / 社団法人 海洋産業研究会)
 - ・東日本大震災特別検討委員会中間報告 / 講演者：大和裕幸 (東京大学)
 - ・パネルディスカッション
 - 船舶や浮体構造物の活用と課題— 司会：小林英一 (神戸大学)
 - パネリスト：井上欣三、栗山善昭、加戸正治、小平秀一、金田義行、越村俊一、浅野茂隆、中原裕幸、大和裕幸
- 17:30～17:35 閉会の挨拶 (元山登雄 副実行委員長)

神戸国際会議場メインホール

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1
TEL.(078)302-5200

最寄駅：三宮からポートライナー利用
「市民広場駅」下車

